

KOGANEI CIVIC ORCHESTRA

# 小金井 市民 オーケストラ

ANNIVERSARY REGULAR CONCERT  
記念定期演奏会

# 40<sup>th</sup>

フンパーディンク 歌劇「ヘンゼルとグレーテル」前奏曲  
グリーグ 「ピアノ協奏曲」イ短調 Op.16  
ドヴォルジャーク 「交響曲第9番」ホ短調Op.95”新世界より“

指揮：工藤俊幸

(国立音楽大学客員教授)

独奏：山田剛史

(国立音楽大学・東京学芸大学講師)

2023年12月16日(土)

17:30開場・18:00開演

小金井宮地楽器ホール

(小金井市民交流センター)

大ホール

JR中央線 武蔵小金井駅南口正面

全席自由 入場料 1,000円  
小金井宮地楽器ホールチケットデスク

【お問い合わせ】小金井市民オーケストラHP

<http://www.koganeiorchestra.jimdo.com/>

主催： 小金井市民オーケストラ

後援： NPO法人小金井市文化協会

後援： 小金井市・小金井市教育委員会

協賛： 小金井さくらロータリークラブ



ス.

## 指揮：工藤俊幸 国立音楽大学客員教授



1966年山形県に生まれる。国立音楽大学音楽学部作曲学科卒業。桐朋学園大学音楽学部オーケストラ研究科指揮専攻修了。指揮を崎田俊治、黒岩英臣、飯守泰次郎各氏に、作曲を増田宏三、島岡譲両氏に師事。1992年オーディションで選ばれ仙台フィル副指揮者に就任。外山雄三音楽監督のもと、1996年までその任を務める。その後一年間ベルリン・ドイツ・オペラで研修。帰国後は全国各地のプロオーケストラを指揮する傍ら、合唱指揮者としても高い評価を得ている。2016年より国立音楽大学音楽研究所公演としてバーンスタイン「ピーターパン」をはじめ数々の20世紀アメリカ音楽の日本初演を果たす。佐藤聡明作品を指揮したCD「仄かなる闇」をカメラータより発売。2020年NHK連続テレビ小説「エール」では指揮者役でドラマ出演。

## 独奏：山田剛史 国立音楽大学・東京学芸大学講師



©Masaaki Hiraga

東京藝術大学大学院修士課程を首席で修了、クロイツァー賞受賞。ロームミュージックファンデーションの奨学生としてケルン音楽大学に留学、国家演奏家試験に合格。クラウディオ・ソアレス、迫昭嘉、ニーナ・ティシュマン、アントニー・シピリの各氏に師事。2002年第1回名古屋国際音楽コンクールピアノ部門第1位。2007年第5回東京音楽コンクールピアノ部門第1位および聴衆賞受賞。ソリストとして秋山和慶氏指揮東京交響楽団はじめ共演多数。室内楽・歌曲伴奏にも定評があり、東京オペラシティ「B→C」、東京・春・音楽祭等に出演。

古楽の基本理念を背景としたJ. S. バッハの演奏解釈に定評がある一方、テッセラ音楽祭「新しい耳」でのジェフスキ《「不屈の民」変奏曲》、ベートーヴェン《ディアベリ変奏曲》といった大作の演奏が話題を呼ぶ。CD「モダン・エチュード」(レコード芸術誌特選盤)。国立音楽大学および東京学芸大学非常勤講師。秋吉台ミュージック・アカデミーにてマスタークラス講師。

【楽曲紹介】歌劇「ヘンゼルとグレーテル」はグリム童話をオペラ化したもので、ワーグナーの影響を強く受けている。欧米ではクリスマスの子供向け演目として人気が高い。グリーグはノルウェイが生んだ世界的作曲家で、代表作「ピアノ協奏曲」は北欧音楽の雰囲気満ちた作品として親しまれている。「新世界より」は1893年にカーネギーホールで初演された。曲全体に「アメリカ的」色彩が盛り込まれ、先住民の音楽やチェコ音楽の郷愁、JAZZの響きも感じられる。鉄道や蒸気機関車のイメージにも含まれており、楽曲のそこかしこに連結器やレールの継ぎ目が生じる音が聞き取れる。

## 管弦楽：小金井市民オーケストラ Koganei Civic Orchestra



1982年(昭和57年)、元東京フィルハーモニー交響楽団ヴァイオリン奏者の故・椎野謙一郎氏を中心に、小金井市内在住・在勤の音楽愛好家により創設。現団長は元読売日本交響楽団ファゴット奏者の越康寿氏。毎週日曜日、栗山公園健康運動センター(東小金井)を拠点に活動。小金井市民交流センター(宮地楽器ホール)のこけら落とし公演となった「小金井文化協会創立20周年記念演奏会」、3.11東日本大震災メモリアルコンサート、小金井市民による「第九特別演奏会」等数々の名演を行っている。

小金井市民オーケストラでは団員を募集しています！

詳しくはホームページ <http://www.koganeiorchestra.jimdo.com/> をご覧ください！